

I-3 健康増進課

1 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

保健・医療・福祉包括ケアシステムとは、地域のすべての住民がたとえ疾病や障害をもって、生きがいをもち、安心・安全な生活を送ることを目的に、保健・医療・福祉等の各機関が十分に役割を果たすことができる仕組みを推進するものです。

(1) 下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向け、2次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議検討を行うため、下北地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議を開催しました。平成20年度から下北地域保健医療推進協議会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画（第2次）の推進について協議しました。

開催日	平成28年3月1日（火）
開催場所	むつグランドホテル
参加者	委員16名、オブザーバー5名、事務局10名

(2) 地域・職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備することを目的とし、地域・職域連携推進協議会を開催しました。平成21年度から地域保健医療推進協議会保健対策部会と併催し、健康あおもり21下北圏域計画（第2次）の推進について協議しました。

	第1回	第2回
開催日	平成27年9月8日（火）	平成28年3月1日（火）
開催場所	むつグランドホテル	むつグランドホテル
参加者数	部会員13名、オブザーバー（市町村）4名、事務局9名	部会員15名、オブザーバー（市町村）5名、事務局10名

(3) 下北管内で開催されている各種協議会等への参加

保健・医療・福祉の関係者が連携を強化し、地域にある既存の社会資源を有効活用し、サービスを必要な人に一体的に提供できることを目的とした各種会議等に委員として参画しました。

下北管内で開催されている各協議会等への参加

会議名	内 容	開催日
地域連携パス推進協議会及び実務者連絡会	公務都合により欠席した。	
むつ下北地域看護と介護の連携作り委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ下北地域橋渡し研修会について ・その他情報交換 於：むつ総合病院	H27. 5. 28（木） H27. 8. 27（木） H27. 11. 26（木） H28. 2. 25（木）

むつ下北地域橋渡し研修会	(1) テーマ：意思決定支援について 講 師：岩手県立中央病院 がん看護専門看護師 伊藤 奈央 事例報告 (2 例)、グループワーク 於：公済会館	H27. 9. 5 (土)
	(2) テーマ：よりよいコミュニケーション ツールを学ぶ ～シームレス・セクトレス・ エンドレスなケアを目指 して～ 講 師：ガイダンスカウンセラー 認定心理士 竹内 由加子 於：プラザホテルむつ	H28. 2. 20(土)
下北地域リハビリテーション 広域支援センター連 絡協議会	・事業報告及び事業計画について 於：むつ総合病院	H27. 7. 6 (月)
地域リハビリテーション 合同研修会	テーマ：「嚥下障害と口腔ケアへのあぷろ ちの実際」 講演 1 摂食・嚥下障害を理解するために 講 師：弘前脳卒中・リハビリテーションセ ンター 副院長 松本 茂男 講演 2 口腔内のトラブルと口腔ケア 講 師：弘前脳卒中・リハビリテーションセ ンター 歯科衛生士 小堀 文美子 ワークショップ 於：公済会館	H27. 10. 25 (日)
市町村地域ケア会議	むつ市 於：むつ市役所	H27. 4. 15 (水) H27. 9. 16 (水) H28. 3. 16 (水) 研修会 H27. 7. 22 (水)
	協働創出ワークショップ「コラボ・ラボ」 於：北通り総合文化センターウイング	H27. 10. 10 (土)

(4) 市町村保健福祉活動への支援

市町村が行う保健福祉サービスの向上と、県内・圏域における保健福祉に関する情報の収集・提供等を行うことにより、管内地域健康福祉施策の円滑な実施を図ることを目的に、市町村の求めに応じて、下北地域県民局地域健康福祉部が持つ機能を活用し支援を行っています。

市町村保健福祉活動への支援

市町村名	市町村からの要望とその他の支援内容	支援回数
むつ市	①保健協力員総会 ②食生活改善推進員総会、研修会、養成講座 ③健康アップフォーラム ④下北地域県民局とむつ市の情報交換会 ⑤現地懇談会打合せ ⑥精神ケース検討、同行訪問 ⑦むつ市要保護児童対策協議会 ⑧その他の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・むつ市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・むつ市地域保健協議会 ・H27 年度障害福祉計画等策定委員会 ・高齢者・障害者虐待防止等連絡協議会 ・地域ケア会議 	年 66 回
大間町	①保健協力員会総会・研修会 ②食生活改善推進員総会・研修会 ③保健活動打合せ・評価会 ④健康づくり推進協議会 ⑤健康づくり宣言後 1 周年記念式典 ⑥ミニ健康まつり ⑦サークル等育成事業	年 16 回
東通村	①保健師活動打ち合わせ・評価会 ②健康づくり推進協議会 ③健康づくり推進大会 ④ヘルスプロモーションカー実証プロジェクト会議 ⑤虐待等対策支援ネットワーク会議 ⑥保健協力員役員会・研修会 ⑦食生活改善推進員総会・研修会 ⑧東通小学校食育授業・打合せ	年 21 回
風間浦村	①保健活動計画会議・評価会 ②健康づくり、第 2 次計画に伴う支援 ③食生活改善推進員会総会・研修会 ④現地懇談会 ⑤保健協力員研修会 ⑥健康づくり推進協議会 ⑦メディコトリム ⑧健康増進コーナー	年 15 回
佐井村	①保健協力会総会 ②食生活改善推進協議会総会・研修会 ③保健協力会、食生活改善推進協議会合同研修会 ④健康アップフォーラム打合せ ⑤メディコトリム事業、保健活動打合せ ⑥ヘルスアップ in 佐井 ⑦メディコトリム事業情報交換会 ⑧下北すこやか子育て百人会議 in 北通り	年 8 回

2 健康づくり

(1) 喫煙対策推進事業

喫煙はがん及び心臓病の重要な危険因子とされるとともに、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図ることを目的に事業を実施しました。

ア 「空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）」

「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」推進事業

現在、空気クリーン施設の登録は 189 件になっています。

<平成 27 年度登録状況>

認証施設の 種類	官 公 庁	文 化 施 設	保 育 施 設	教 育 施 設	医 療 施 設 (機 関)	福 祉 ・ 介 護 施 設	体 育 施 設	事 業 所	公 共 交 通 機 関	飲 食 店	宿 泊 施 設	そ の 他	タ ク シ ー 等 の 車 両	計
交付済数	10	5	72	38	22	2	22	0	8	1	9	0	189	

イ その他

事業名	テーマ	対象者 参加者	内容
研修会	①受動喫煙と「空気クリーン施設」について ②たばこもダメ！絶対！ ③喫煙が及ぼす健康被害について	①食品衛生責任者講習会 受講者 4回 276名 ②・むつ市立近川中学校 全校生徒、教員 42名 ・大間町立奥戸小学校 4～6年生 33名 ③障害者支援施設陽幸園 支援員 15名	①ミニ講話 ②防煙教室 ③禁煙教室
検討会	妊産婦の喫煙対策について	むつ・下北管内母子保健 ネットワーク会議 出席者 16名	意見交換

広報活動	①ポスターの掲示・パンフレット配布 ②合同庁舎内放送	①一般住民、親と子のよい歯のコンクール参加者 ②県民局職員	①禁煙週間普及啓発及び空気クリーン施設依頼時配布 ②禁煙週間普及啓発
その他	若者の禁煙サポート	禁煙支援希望者 1名 (事業申込者)	電話等による禁煙継続支援

(2) 糖尿病予防対策

糖尿病保健医療連携支援システム構築事業（管内独自の取組）

糖尿病精検結果、治療不要となった方が、糖尿病の発症を防ぐための生活習慣改善に取り組めるよう平成 21 年度むつ市とむつ総合病院をモデルとして医療連携支援システムの構築を目的として事業を展開し、平成 22 年度以降は大間病院や開業医と管内町村へ連携を拡大しました。

ア 糖尿病保健医療連携支援システム構築事業市町村担当者会議

平成 27 年度は都合により開催なし。
保健師連絡会議（2 回）で意見交換した。

イ 糖尿病保健医療連携支援システム活用状況

年度	件数	協力医療機関数	市町村
21	2	むつ総合病院	むつ市
22	12	むつ総合病院、大間病院、開業医 1 か所	管内 5 市町村
23	22	むつ総合病院、大間病院、開業医 5 か所	管内 5 市町村
24	41	むつ総合病院、大間病院、開業医 7 か所	管内 5 市町村
25	63	むつ総合病院、大間病院、開業医 11 か所	管内 5 市町村
26	未把握	むつ総合病院、大間病院、開業医 11 か所	管内 5 市町村

(3) 減塩の推進とバランスのよい食生活の普及

食の環境づくり（青森のおいしい健康応援店認定事業）

「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図ることを目的として実施しました。

管内における認定店は 0 件でした。

(4) 健康教養普及定着事業

県民の行動変容に繋がるよう各ライフステージに関わる関係機関が連携・協働してエビデンスに基づく情報・資料を作成し、普及啓発活動を行うとともに、共通の情報を繰り返し県民に提供できるよう保健協力員、食生活改善推進員等の地区組織団体を対象とした研修を行い普及啓発の担い手を育成することを目的に実施しました。

ア 健康教育サポーター人材育成・強化研修会

開催日	内 容	場 所	参加者数
平成 27 年 4 月 16 日 (木) 4 月 17 日 (金) 4 月 23 日 (木)	下北地域の健康課題と保健協力員の役割 むつ保健所 健康増進課長 工藤 美子	大間町総合開発 センター 佐井村役場 むつ市役所	保健協力員 163 人

開催日	内 容	場 所	参加者数
平成 27 年 5 月 22 日 (金)	下北地域の健康課題と食生活改善推進員の 役割 むつ保健所 健康増進課長 工藤 美子	むつ市中央公民 館	食生活改善推進員 53 人
平成 27 年 6 月 9 日 (火) 9 月 8 日 (火) 11 月 12 日 (木) 平成 28 年 3 月 3 日 (木)	講話 ①「下北地域の健康課題について」 ②「受動喫煙と空気クリーン施設について」 むつ保健所 技師 盛 美咲 技師 佐藤 愛美	下北文化会館	食品衛生責任者講習 会参加者 288 人
平成 27 年 11 月 6 日 (金)	婦人科疾患と健診について ～健診受診勧奨のために～ 講師 青森県総合健診センター 副診療所長 長澤 一磨	むつ来さまい館	保健協力員 88 人
平成 27 年 11 月 9 日 (月) 11 月 17 日 (火) 12 月 14 日 (月)	短命県返上～来さMY健康！めざせ 下北平均寿命アップ～	むつ来さまい館 むつ保健所 はねやホテル	事業所、組織、団体 の会員等 141 人

3 栄養改善

(1) 給食施設栄養管理指導事業

安全で栄養効果がある給食実施が適切に行われるために、給食従事者に対し栄養管理、衛生管理等について研修会や個別巡回指導を実施しました。

ア 給食施設栄養管理指導事業研修会

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 27 年 5 月 25 日 (月)	第 1 回下北すこやか子育て百人会議モニタリング分科会と併催 ①講話「こどもの健康づくりアンケートの結果、下北すこやか子育て百人会議の今までと今後」 むつ保健所 技師 矢野亮佑 ②講話「身長・体重入力、成長曲線作成ツール ver. 2.0 について」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏 ③グループワーク「ネットワークづくりとモニタリングの評価について」	むつ市役所	保育所 14 施設 (18 名)、幼稚園 5 施設 (5 名)、こども園 1 施設 (1 名)、むつ市役所 (3 名)、大間町役場 (1 名)、東通村 (2 名) 合計 30 名
平成 27 年 7 月 27 日 (月)	第 2 回下北すこやか子育て百人会議モニタリング分科会と併催 ①講話 「下北すこやか子育て百人会議の今までと今後」 むつ保健所 技師 矢野亮佑 ②講話 「ツールを使った身長体重のモニタリングについて」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏 ③グループトーク 「ツールの使用状況等について」	むつ市役所	保育所 12 施設 (24 名)、幼稚園 1 施設 (2 名)、こども園 1 施設 (1 名)、小学校 1 施設 (1 名)、むつ市役所 (4 名)、大間町役場 (1 名)、東通村役場 (1 名) 合計 34 名
平成 27 年 9 月 3 日 (木)	第 2 回下北すこやか子育て百人会議と併催 ①ワークショップ「～下北の子どもの肥満について～保護者が行動しやすくなるために具体的にできること」 ②講話「身長・体重を測ることから始めよう」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏 ③講話「歯の健康を見守っていくということ」 田中歯科クリニック 院長 田中志昌 氏	むつグランドホテル	保育所 17 施設 (21 名)、幼稚園 1 施設 (1 名)、こども園 1 施設 (2 名)、小学校 5 施設 (5 名)、地域ボランティア等 5 団体 (8 名)、むつ市役所 (5 名)、むつ市教育委員会 (1 名) 大間町役場 (1 名)、大間町教育委員会 (1 名) 東通村教育委員会 (1 名)、下北地域県民局職員等 (8 名) 合計 54 名

	④講話「むつ下北に子育てネットワークを！」 どんぐりこどもクリニック 院長 佐々木正人 氏		
平成 27 年 12 月 2 日 (水)	第 3 回下北すこやか子育て百人会議モニタリング分科会と併催 ①講義「身長・体重、成長曲線作成ツール活用の実際」 むつ市役所介護福祉課 主事 (管理栄養士) 山口真波 氏	むつ市役所	保育所 11 施設 (16 名)、 むつ市役所 (1 名) 合計 17 名
平成 28 年 2 月 15 日 (月)	第 4 回下北すこやか子育て百人会議モニタリング分科会と併催 全体討議 ①「各施設で作成している成長曲線の紹介」 ②「成長曲線の保護者への効果的な返し方について」	むつ市役所	保育所 12 施設 (14 名)、幼稚園 3 施設 (3 名)、むつ市役所 (2 名) 合計 19 名
平成 28 年 3 月 7 日 (月)	第 3 回下北すこやか子育て百人会議 in 北通りと併催 ①説明「これまでの下北すこやか子育て百人会議について」 むつ保健所健康増進課 技師 盛美咲 ②グループワーク ア「小児肥満によりその子の将来の健康が損なわれることに対してどう思いますか？」 イ「小児肥満の子が少なくなると、どんないい事がありますか？」 ③講話「保育所発！スリムプラン事業から」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏 佐井村保育所 調理師 万谷真紀子氏 ④グループワーク 「もしこんな子がいたら、どのように地域で連携して支援すればよいだろう」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏	大間町総合開発センター	保育所 4 施設 (9 名)、幼稚園 1 施設 (6 名)、小学校 6 施設 (7 名) 大間町役場 (2 名)、風間浦村役場 (1 名)、大間町教育委員会 (1 名)、佐井村教育委員会 (1 名)、下北教育事務所 (1 名)、医療機関 2 施設 (4 名) 合計 33 名

イ 給食施設巡回指導

年度	個別巡回指導		給食施設数	
	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設	栄養士の いる施設	栄養士の いない施設
25	39	28	40	28
26	43	28	44	28
27	46	27	46	27

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質の向上を図り、市町村の栄養改善事業の推進を図ることを目的としています。

管内市町村栄養士の配置は、平成27年4月現在、むつ市に4名配置されています。そのほかの管内町村の栄養改善業務は、主に在宅栄養士が担当しています。

ア 連絡調整会議・研修会

	開催日	内 容	場 所	出席者
連絡調整 会議	平成28年 3月10日（木）	<情報提供> 下北地域の健康課題について むつ保健所 技師 盛美咲 <意見交換> 栄養改善業務（母子、成人）における栄養 相談・指導について その他	むつ保健所 会議室	むつ市健康推進課 2名 むつ市大畑庁舎 1名 むつ市大畑庁舎 1名 地域活動栄養士 4名
研修会	平成27年 9月3日（木）	第2回下北すこやか子育て百人会議 ワークショップと併催 講話 「身長・体重を測ることから始めよう」 青森県立保健大学健康科学研究科 教授 吉池信男 氏 講話 「歯の健康を見守っていくということ」 田中歯科クリニック 院長 田中志昌 氏 講話 「むつ下北に子育てネットワークを！」 どんぐりこどもクリニック 院長 佐々木正人 氏	むつグラン ドホテル	むつ市健康推進課 2名 むつ市児童家庭課 1名

イ 保健所栄養士による市町村栄養改善業務援助回数

年度	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
25	7	1	0	3	1	12
26	7	2	2	1	0	12
27	4	1	2	0	0	7

4 母子保健

(1) 未熟児等情報共有システム

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟で、疾病にかかりやすく、心身に障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて育児支援を適切にすすめ、関係機関と情報を共有し連携体制構築のため運用しています。

平成 27 年度未熟児等情報共有システム運用状況

市町村	低出生体重児数	未熟児等出生連絡票 受理数	未熟児等訪問指導連絡票 発行数
むつ市	46 件	24 件	23 件
大間町	3 件	0 件	0 件
東通村	1 件	0 件	0 件
風間浦村	2 件	2 件	1 件
佐井村	0 件	1 件	1 件
計	52 件	27 件	25 件

(2) 身体障害児等療育相談事業

身体の機能に障害のある児又は機能障害を招く恐れのある児を早期に発見し、適切な治療上の指導を行い、その障害の治療もしくは軽減を図ることを目的に療育相談を年 4 回開催しました。

また、身体障害児について障害の状態及び療育の状況を随時把握し、その状況に応じて適切な福祉の措置について指導しています。

相談者数、相談結果(相談者数の内、新規利用者数)

	5 月	8 月	11 月	2 月	計
要治療	0	0	0	1	1
経過観察	9	5	4	4	22
異常なし	0	0	0	1	1
計	9(1)	5(1)	4(0)	6(0)	24 (実人員 11)

相談内容 (延件数)

	計
肢体不自由	22
補装具相談	6
視覚障害	1
聴覚・平衡機能障害	1
音声・言語・咀嚼機能障害	17
その他 (栄養指導等)	7
計	54

(3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整やその他の事業を行います。

ア 療育相談（ひまわり相談・面接指導等）の実施状況

	利用者数延人数(実人員)			相談内訳数(延人数)								
	計	男	女	申請	医療	看護	福祉	就学	栄養	歯科	他	計
定期 (12回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
随時	(21) 35	(13) 24	(8) 11	31	7	12	0	4	0	0	7	61
合計	(21) 35	(13) 24	(8) 11	31	7	12	0	4	0	0	7	61

イ 訪問指導 ※アの再掲

訪問指導者数		
計	男	女
(4) 4	(2) 2	(2) 2

疾患名

- ・悪性新生物
- ・膠原病
- ・糖尿病
- ・神経・筋疾患
- ・慢性心疾患 等

ウ 電話相談 : 延べ人数1人

(4) 妊産婦支援体制整備事業

ア 母子保健ネットワーク会議

母子が健やかに妊娠、出産を迎え、育児を行うことができるよう、母子保健における課題について関係機関が協議を行い、連携を一層強化することを目的として行っています。

構成団体（医療、保健、福祉、その他団体の関係者）

開催日	内 容	場 所	参加者
平成27年 8月31日 (月)	平成27年度むつ・下北管内母子保健ネットワーク会議 (1) 情報提供内容 ・平成26年度妊産婦及び未熟児等情報共有システム運用状況 ・平成26年度市町村母子保健事業実施状況集計結果 ・むつ保健所管内妊産婦・未熟児等連絡担当者名簿 (2) 協議テーマ ①ハイリスク妊産婦の対応のあり方について ②喫煙妊婦へのアプローチについて	むつ保健所 会議室	構成団体 6団体 11名 事務局 5名 計 16名

(5) 女性健康支援事業

思春期から更年期にいたる女性はその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう支援します。

相談状況

月1回の定期相談の開催、来所及び電話による随時相談を行い、相談件数は14件でした。

(6) 各種医療給付及び検査実施状況

ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

この制度は、長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として、対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすものです。平成27年1月1日から制度改正となり、対象疾病は11疾患群から14疾患群に追加・整理されました。

平成27年度末現在、管内で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持する対象児童数は78名となっています。

イ 小児慢性特定疾病児童手帳交付事業

上記アの対象児童に対し、緊急の連絡先等を記載する手帳（愛称：ひまわり手帳）を交付しています。平成27年度の管内の交付件数は12件となっています。

ウ 先天性代謝異常等検査

先天性代謝異常等検査は発見が遅れると障害の原因になる先天性の疾患を早期に発見し、治療することを目的として全ての新生児を対象に実施しています。

平成25年度から、新たな検査方法（タンデムマス法）が導入され、19疾患について検査することが出来るようになりました。

先天性代謝異常検査結果、疑陰性であったのは1件、正常0件、確定診断0件あり、市町村保健師へ情報提供し、精密検査の受診を推奨するよう依頼しました。

エ 青森県特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が重いことから、費用の一部を助成しています。

平成27年度の管内の交付件数は32件となっています。

5 歯科保健

(1) 親と子のよい歯のコンクール

幼児や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯をもつ親と子を表彰し、むつ・下北地域の母子歯科保健の推進を図るものとして、平成27年度「親と子のよい歯のコンクール」第1次選考会をむつ下北歯科医師会と共催で実施しました。

第1次選考会では、管内市町村から推薦のあった対象者77組のうち28組が参加し、参加者の中から第1位の母子を決定、また参加者全員を表彰しました。

【開催実績】

開催日	内 容	場 所	参加者
平成27年 6月6日（土）	(1) 下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室長挨拶 (2) むつ下北歯科医師会会長講評 (3) 第1位者発表 (4) 第1次選考会参加者表彰	下北文化会館 2階大集会室	管内市町村より推薦の あった親子77組のうち 28組

【参加実績】

年度	コンクール対象者 (3歳児健診むし歯0本児等)	第1次選考会参加者数
25	39組	18組
26	65組	27組
27	77組	28組

6 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報・届出及び移送の状況（平成27年度）

（単位：件）

区 分	申請通報 届出件数	調査により 診察の 必要がないと認め た者	診察を受けた者		移送を行った件数		
			法第29条 該当症状 の者	法第29条 該当症状 でなかった者	調査から 1次診察 場所まで	1次診察 場所から 2次診察 場所まで	2次診察 場所から 病院まで
一般の申請	1		1				
警察官の通報							
検察官の通報							
保護観察所長の通報							
矯正施設の長の通報	1	1					
病院の管理者の届出							
計	2	1	1				

イ 措置入院者

（単位：人）

26年度末患者数	27年度中新規患者数	27年度中解除患者数	27年度末患者数
0	1	1	0

ウ 入院形態別患者数（管内医療機関 平成28年3月31日現在）

（単位：人）

	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
平成25年度	37		28	9	
平成26年度	48		30	18	
平成27年度	47		31	16	

エ 病名別入院患者数（管内医療機関 平成 28 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
統合失調症	27	35	27
躁うつ病	9	10	7
精神神経症	1		1
精神病質			
精神遅滞			3
てんかん			3
中毒性精神障害	1	1	
その他及び不明			
脳器質性精神障害	3	2	4
その他の精神病			2
計	41	48	47

オ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年度末日現在）（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
平成 25 年度	424	24	47	13	15	523
平成 26 年度	445	28	44	10	15	542
平成 27 年度	計	486	31	47	11	591
	1 級	111	7	13	2	135
	2 級	312	17	24	7	372
	3 級	63	7	10	2	84

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者数（平成 28 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
症状性を含む器質性精神障害	22	1	5			28
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	13		3	1		17
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	375	27	38	8	12	460
気分（感情）障害	141	10	8	8	6	173
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	60	2	3		1	66
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1				1	2
成人の人格及び行動の障害	6		2			8
知的障害（精神遅滞）	29		3			32
心理的発達の障害	33	1	1	1		36
小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び詳細不明の精神障害	5	1	1			7

	むつ市	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
てんかん	74	8	9	5	4	100
その他の精神障害						0
分類不明	49	1	3		3	56
計	808	51	76	23	27	985

(2) 精神保健福祉相談状況

実施日 指定日 (年5回) 受付時間 午後2時～3時 従事者 精神科医
 毎月第1月曜日 受付時間 午後1時～2時 従事者 保健師

相談内容別相談件数

(単位：件)

		平成26年度相談件数	平成27年度相談件数	相談内容別															
				受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	思春期	その他
来所	定期	8	10	2	1			1						1			1		4
	随時	12	14	5				2	1			1					3		2
	電話	37	68	23	4		1	1	2	3		1				1	2	5	25
	計	57	92	30	5		1	4	3	3		1	1	1		1	6	5	31

(3) 家庭訪問指導状況

家庭訪問指導件数

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	対象者別訪問状況				支援内容 (延件数)							
			総計	一般	社会復帰	アルコール	受診に向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	アルコール	薬物	社会復帰	自殺関連	
延数	24 (14)	46 (16)	46 (16)	32 (13)	12 (2)	2 (1)	27				2	2	10	5

※ () 内の数値は実数

(4) 精神障害者社会適応訓練事業

本事業は、平成 26 年度で終了となりました。

(5) 自殺対策事業

ア 地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業

(ア) 地域の実情に応じた自殺対策

開催日	出席者	内容
平成 27 年 10 月 20 日 (火)	老人クラブ、企業、 民生委員、村議員 計 180 名	こころの健康づくり研修会（東通村社会福祉大会と併催） 講演 「みんなで取り組む自殺予防 ～こころのサインに気づいたら～」 講師 秋田大学大学院医学系研究科 准教授 佐々木 久長

(イ) 地域自殺対策官民連携協働会議及び研修会

開催日	出席者	内容
平成 28 年 2 月 24 日 (水)	消防、警察、医療 機関、介護関係、 市社会福祉協議 会、精神保健福祉 ボランティア、家 族会、民生委員、 市町村 計 40 名 (事務局含む)	自殺対策関係者ネットワーク会議 (こころの相談関係者ネットワーク会議) 1 情報提供 「管内における高齢者の自殺統計について」 むつ保健所健康増進課 主査 横浜 まり子 2 研修 「高齢者の自殺予防について」 講師 県立精神保健福祉センター 所長 田中 治 3 情報交換及び意見交換 「管内高齢者の自殺事例から背景や要因について考える」 助言者 県立精神保健福祉センター 所長 田中 治

(6) 市町村活動への支援

ア 事例検討会への参加等

市町村名	内 容
むつ市	要保護児童ケース会議（3 事例、計 8 回）、処遇検討（2 事例、計 4 回） 退院前カンファレンス（2 事例、計 2 回）

イ 市町村との同行訪問

受診援助や継続ケース等への同行訪問を 19 件行いました。うち、市町村保健師との同行訪問は 15 件でした。

(7) 精神障害者家族会及び当事者への支援

ア 精神障害者家族会

家族会名	内 容
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	・下北地域メンタル家族会学習・交流会に参加（1回）
大畑町メンタル福祉家族会ひばの会	・総会に出席（1回）

〈管内家族会の状況〉

家族会名	設立年月日	事務局	会員数 (H27年度末)
あじさいの会（むつ市）	昭和 63 年 11 月 9 日	アックス工房内	休止中
北通り地区精神障害者家族会	平成 5 年 3 月 10 日	風間浦村村民生活課	10 人
ふれあい家族会（川内町）	平成 6 年 7 月 7 日	むつ市役所川内庁舎	休止中
ひばの会（大畑町）	平成 13 年 4 月 11 日	むつ市役所大畑庁舎	8 人
むつ下北メンタル福祉家族会連合会	平成 21 年 7 月 23 日	アックス工房内	/
きさらぎの会（アックス工房）	平成 23 年 2 月 27 日	アックス工房内	
東通村いちいの会 （※ 3 障害の家族会を統合）	平成 26 年 4 月 1 日	東通村社会福祉協議会	37 人

イ 当事者の会「なごみの会」

平成 17 年度に設立され、平成 27 年度末の会員数は 3 名です（事務局は会長宅）。主に、むつ市の保健師と精神保健福祉ボランティアが協力して支援しており、保健所は総会の資料等の作成の支援をしました。

(8) 関係機関等連絡会議

会議名	開催月日	場所	開催内容	出席者
精神保健福祉関係者連絡会議	平成 27 年 6 月 25 日 (木)	むつ保健 所会議室	1 説明及び質疑応答 ・自立支援医療及び精神保健福祉手帳の事務手続き ・平成 27 年度通院医療費等判定会開催予定日について 2 情報交換 ・平成 27 年度管内市町村及びむつ保健所の精神保健福祉活動について	市町村保健福祉 障害担当事務、 保健師、事務局 (保健所) 計 12 名
精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 28 年 1 月 29 日 (金)	公済会館	1 整備事業概要について 2 救急医療システム実績報告 3 救急医療システム実施状況 4 意見交換 保健所での移送車の確保、通報に係る受け入れ態勢、身元不明者捜索について意見が出された。	委員 7 名 オブザーバー 4 名 事務局 4 名 計 15 名

(9) 地域生活支援広域調整等事業

平成26年4月の精神保健福祉法の一部改正により、精神障害者の地域生活への移行促進に向けた見直しが行われました。精神障害者本人とその家族が、住み慣れた地域で適切な医療を受け、本人が希望する生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉分野の関係機関が連携して支援する体制づくりが必要となっています。

平成27年度は、病院関係者に地域移行についての理解と地域スタッフの役割を知ってもらうための情報交換会を実施しました。

開催日	出席者	内 容
平成28年 2月29日(月)	医療機関 5名 (医師、病棟看護師、精神保健福祉士、相談員、訪問看護) 相談支援事業所 2か所3名 障害者支援施設 1か所1名 グループホーム 1か所2名 市町村 1名 保健所 2名 計14名	官民協働による地域移行支援の情報交換会 1 あいさつ、自己紹介 2 保健所の役割について説明 3 地域移行支援について 4 各関係機関より 5 意見・情報交換 6 今後の展開について

7 難病

(1) 指定難病医療費助成制度及び特定疾患治療研究事業

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働省が定める疾病を指定難病といい、指定難病の患者に対して治療に係る医療費の一部を助成する制度を行っています。平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、同年7月1日までに医療費助成の対象疾病が段階的に306疾病まで拡大されました。なお、制度改正前に特定疾患治療研究事業で対象であった5疾患については、負担の軽減を図ることを目的に同事業で医療費の一部を公費負担しています。

平成27年度末における医療受給者は579名です。

ア 病名別特定医療受給者数

疾病番号	病 名	受 給 者 数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
002	筋萎縮性側索硬化症	5	6	6
005	進行性核上性麻痺		3	4
006	パーキンソン病	76	72	77
007	大脳皮質基底核変性症		1	2
011	重症筋無力症	10	9	11
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	10	10	12
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	1	1
017	多系統萎縮症	7	5	6
018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	31	30	30
019	ライソゾーム病	4	4	5

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
021	ミトコンドリア病	2	2	2
022	もやもや病	7	10	10
028	全身性アミロイドーシス	1	2	1
034	神経線維腫症	4	4	5
035	天疱瘡	1	2	2
037	膿疱性乾癬（汎発型）	1	1	1
040	高安動脈炎	5	5	6
042	結節性多発動脈炎	4	2	2
043	顕微鏡的多発血管炎		4	4
044	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	2
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症			1
046	悪性関節リウマチ	5	5	6
047	バージャー病	13	11	10
049	全身性エリテマトーデス	33	30	30
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	16	6	6
051	全身性強皮症		8	7
052	混合性結合組織病	8	8	8
053	シェーグレン症候群			1
056	ベーチェット病	14	15	16
057	特発性拡張型心筋症	9	10	11
058	肥大型心筋症			2
060	再生不良性貧血	2		
063	特発性血小板減少性紫斑病	16	15	18
065	原発性免疫不全症候群		1	1
066	IgA 腎症			7
067	多発性嚢胞腎			1
068	黄色靭帯骨化症	2	6	6
069	後縦靭帯骨化症	44	44	42
071	特発性大腿骨頭壊死症	22	22	22
072	下垂体性 ADH 分泌異常症	10		
073	下垂体性 TSH 分泌亢進症			
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症		1	1
075	クッシング病			
076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症			
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症		1	1
078	下垂体前葉機能低下症		12	12
081	先天性副腎皮質酵素欠損症			
084	サルコイドーシス	15	16	19
085	特発性間質性肺炎	4	2	5
089	リンパ脈管筋腫症	1	1	1
090	網膜色素変性症	14	14	13
093	原発性胆汁性肝硬変	23	20	20

疾病 番号	病 名	受 給 者 数		
		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
095	自己免疫性肝炎			2
096	クローン病	32	32	32
097	潰瘍性大腸炎	78	79	79
117	脊髄空洞症			1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症			1
222	一次性ネフローゼ症候群			6
306	好酸球性副鼻腔炎			1
合 計		532	534	579

イ 病名別特定疾患医療受給者数

	病 名	受 給 者 数		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	スモン	1	1	1
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）			
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）			
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎			
5	重症急性膵炎			
合計		1	1	1

（２）難病患者地域支援対策推進事業

ア 難病患者等相談事業

（ア）医療相談

難病患者やその家族の医療及び日常生活上の相談に対し、専門職による指導・助言を行い、在宅療養における疾患等に対する不安の解消を図りました。

開催日、開催場所	対象	参加者数	内 容	個別相談
平成 27 年 10 月 21 日(水) むつ来さまい館 イベントホールB	神経・筋疾患	11 名 患者 8 名 家族 3 名	①講話・実技 「日常生活の工夫と運動方法」 講師： みちのくリハビリテーションセンター 理学療法士 能登真希子 ②交流会 「普段感じていることをいろいろお話ししましょう。」	なし

<p>平成 27 年 11 月 11 日(水)</p> <p>下北文化会館 研修室 2</p>	<p>神経・筋疾 患</p>	<p>6 名 患者 4 名 家族 2 名</p>	<p>①講話・実技 「飲み込みの仕組みとお口のケア」 講師： 青森県口腔保健支援センター 歯科医 金澤 孝彦 歯科衛生士 濱田 咲美</p> <p>②交流会 「日々の生活の中で心がけているこ と」</p> <p>③個別相談</p>	<p>歯科医、歯 科衛生士</p>
---	--------------------	----------------------------------	---	-----------------------

(イ) 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者・家族が抱える日常生活及び療養上の悩みに対して相談を行うため、2名の在宅保健師に訪問相談員の証を交付し、選定した難病患者へ継続して訪問支援をしました。活動日数は12日、活動件数は延べ12件（実7件）でした。

(3) 在宅重症難病患者家族支援事業

平成27年度末現在、利用者はいませんでした。

(4) その他の活動

ア 家庭訪問

主に患者や家族、関係機関から訪問依頼があった患者等に対して訪問しました。実人員35件、延べ54件行いました。

イ 所内面接指導

特定疾患医療受給者証新規交付時や更新時及び随時相談を行いました。583件の相談件数でした。相談内容は、申請等に関する事、医療、家庭看護、福祉制度、就労、食事・栄養に関するもの等でした。

ウ 電話相談

随時電話相談を行い、相談件数は14件でした。

8 人材育成

(1) 初任期及び新任期保健師研修

初任期及び新任期保健師が保健師の専門性を発揮し、「みる」「つなぐ」「動かす」という地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけることを目的に研修会を開催しました。

<初任期>

開催月日	内 容	参加者数
平成 27 年 4 月 28 日(火)	①保健所業務の概要、保健所各課の業務 ②保健師活動 ③福祉事務所の業務 ④児童相談所の業務 於：むつ保健所	初任期保健師 1 名
平成 27 年 12 月 3 日(水)	ゲートキーパー育成指導者研修併開催 <講義及び演習> 「研修の取組の背景と目的、実施にあたっての留意点について」 講師 青森県立精神保健福祉センター 相談指導課長 星 敬子 主幹 松坂 育子	初任期保健師 1 名
平成 27 年 12 月 21 日(月)	①地域の健康課題と保健師活動 ②災害時の保健師活動について ③意見交換 於：むつ保健所	初任期保健師 1 名

<新任期>

開催月日	内 容	参加者数
平成 27 年 12 月 21 日(月)	①地域の健康課題と保健師活動 ②災害時の保健師活動について ③意見交換 於：むつ保健所	新任期保健師 5 名

(2) 青森県新任等保健師育成支援事業

市町村の 20 歳代等の若手保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

平成 27 年度は、事業の活用はありませんでした。

(3) 青森県保健所保健師等育成支援事業

地域県民局健康福祉部保健総室の新任保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援を行い、「地域を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることを目的に実施しています。

トレーナー 活動期間	平成 27 年 5 月～平成 28 年 3 月		
支援状況	家庭訪問	18 日	(訪問件数実 10 件、延 18 件)
	健康診断	1 日	(むつ市 3 歳児健診)
	関係機関連絡	1 日	(保育所、役場訪問等)
	その他	5 日	(打合せ、計画・資料作成、評価会)

(4) 中堅期保健師研修

開催月日	内 容	参加者数
平成 27 年 12 月 3 日(水)	ゲートキーパー育成指導者研修併開催 ＜講義及び演習＞ 「研修の取組の背景と目的、実施にあたっての留意点について」 講師 青森県立精神保健福祉センター 相談指導課長 星 敬子 主幹 松坂 育子	保健師 14 名 (うち中堅期 8 名)

(5) 保健師連絡会議

市町村のリーダー期及びリーダー保健師がその機能を発揮し、チームリーダーとしての役割を果たすことを目的に保健師連絡会議を 2 回開催しました。

開催月日	内 容	参加者数
平成 27 年 8 月 31 日(月)	①下北地域健康なまちづくり事業について ②H27 年度保健事業取組状況について ③データヘルス計画の進捗状況について ④糖尿病保健医療連携支援システム構築事業 ⑤受動喫煙対策について 於：むつ保健所	市町村保健師 7 名 所内保健師等 8 名
平成 28 年 3 月 14 日(月)	①平成 27 年度下北地域まちづくり事業の取組状況について ②市町村の保健活動状況について (健康づくり宣言や次年度の重点活動等) ③平成 28 年度の計画について 於：むつ保健所	市町村保健師 8 名 所内保健師等 7 名

9 総合的地域診断システム構築事業

地域及び保健所関連業務に係るデータを総合的に分析し、企画評価に活用することにより、複雑多様化する健康課題の解決に向けた的確で効果的な健康施策を推進することを目的に、市町村等「健活」推進のための地域診断事業及び総合的地域診断システム推進事業を実施しました。

(1) 市町村等「健活」推進のための地域診断事業

これまでも特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施してきたが、レセプトデータをより分析しやすいように新たにツールが作成されたことから、このツールを用いて、市町村がレセプトデータの分析を行うことにより、地域診断を実施し、より効果的で効率的な「健活」を推進できるようにすることを目的に実施しました。

開催月日	内 容	参加者数
平成 28 年 3 月 14 日(月)	情報交換 「特定健診等関連データ分析結果の活用状況について」 於：むつ保健所	保健師 14 名 (市町村 8 名、保健所 6 名)

(2) 総合的地域診断システム推進事業

県本庁や保健所が担うべき情報分析機能を強化するために、ITを活用した「知(情報)の伝承」システムを構築するため、難病・精神関係の分析のためのツールが平成23年度開発され、相談等で活用が図られています。

10 組織育成

(1) 保健協力員連絡会

健康づくりの担い手である保健協力員活動の活性化を図り、地域住民の健康水準の向上につなげるために、自主的活動に向けての支援を行いました。

ア 市町村保健協力員配置状況(平成27年度)

(単位:人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	計
協力員数	146	54	75	26	42	60	30	34	467
組織会の有無	有	有	有	有	有	有	有	有	
設置年月日	S38年1月	S36年9月	S33年4月	H7年7月	S54年1月	H6年11月	S54年7月	S48年4月	

イ 保健協力員連絡・研修会事業

青森県国民健康保険団体連合会からの助成を受け実施しました。

役員会で研修内容を計画し、それぞれが役割を果たし、主体性を持って取り組みました。

開催日	場所	研修内容	参加者
平成27年 6月11日(木)	むつ保健所	第1回管内保健協力員連絡会役員会 1. 平成27年度役員体制について 2. 平成26年度下北地方保健協力員連絡会実績報告 3. 平成26年度収支決算報告 4. 平成27年度収支予算案 5. 平成27年度下北地方保健協力員連絡研修会について 6. 各市町村の平成27年度活動計画について	17人
平成27年 11月6日(金)	むつ来さまい館	平成27年度下北地方保健協力員連絡会研修会 1. 講演 「婦人科疾患と検診について ～健診受診勧奨のために～」 講師:公益財団法人 青森県総合健診センター副診療所長 長澤 一磨氏 2. 活動発表① 「平成27年度青森県保健協力員代表者研修会で得られたこと」 発表者 下北地方保健協力員連絡会役員 3. 活動発表② 「私たちの活動の実際」 発表者 風間浦村、佐井村保健協力会会長	101人

		4. 活動発表③ 「保健協力員から体操を始めよう」 発表者 むつ市大畑地区保健協力員会、 大間町保健協力会、東通村保健協力員会	
平成 28 年 2 月 4 日 (木)	むつ保健所	第 2 回管内保健協力員連絡会役員会 ①平成 27 年度活動報告、収支決算報告 ②平成 28 年度活動計画案及び予算案について ③平成 28 年度役員体制について ④情報交換 ・各地区活動経過報告 ・その他 ⑤情報提供 「健康づくり事業について」	18 人

(2) 食生活改善推進員連絡協議会

地域に密着した食生活改善活動にあたる食生活改善推進員の調理実習等地区組織活動を指導、支援しました。

ア 市町村食生活改善推進員の配置状況

(平成 27 年 4 月現在) (人)

市町村名	むつ市 むつ地区	むつ市 川内地区	むつ市 大畑地区	むつ市 脇野沢地区	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	合計
会員数	36	45	20	11	22	31	34	9	208

イ 管内食生活改善推進員連絡協議会の育成・支援

開催日	場 所	内 容	参加
平成 27 年 5 月 22 日 (金)	むつ市中央公 民館	管内食生活改善推進員連絡協議会並総会びに研修会 研修会 講演「食生活改善推進員の役割」 むつ保健所健康増進課長 工藤	65 人
平成 27 年 6 月 17 日 (水)	むつ市中央公 民館	調理実習 カルシウムたっぷりメニュー	35 人
平成 27 年 4 月 27 日 (月)	むつ保健所	第 1 回役員会 ・総会の検討、総会資料作成	8 人
平成 27 年 7 月 6 日 (月)	むつ保健所	第 2 回役員会 ・日本食生活協会及び青森県委託事業について、 ・健康アップフォーラムについて	7 人
平成 27 年 8 月 26 日 (水)	むつ保健所	第 3 回役員会 ・健康アップフォーラム試食提供について	8 人
平成 27 年 10 月 14 日 (水)	むつ保健所	第 4 回役員会 ・健康アップフォーラム試食提供について	8 人

1 1 虚偽・誇大広告の禁止等食品の表示に関する指導・相談

健康増進法に基づく虚偽・誇大広告の禁止、食品表示法に基づく栄養成分表示等に関する食品の表示が規定通りに行われることを目的として、食品関連業者からの相談を受け、また指導を実施していますが、虚偽・誇大広告の禁止に関する指導・相談は0件、栄養成分表示に関する指導・相談は5件でした。

1 2 石綿（アスベスト）に係る健康相談状況

石綿（アスベスト）に係る健康被害状況について関係企業から相次いで公表されていることを契機として、住民の石綿に対する健康不安が高まっていることを受けて、県では、国の指示を受けて保健所においてアスベストに関する健康相談を平成17年7月より実施し、平成27年度は、来所相談及び石綿健康被害救済給付申請はありませんでした。

1 3 感染症予防

(1) エイズ予防関係

エイズ及び性感染症の予防・まん延防止を図るため、保健所に相談窓口を開設し、匿名での相談・無料の検査を月1回実施しています。HIV抗体検査の他、性器クラミジア抗体検査及び梅毒血清検査を行っています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
25	8	2	3		3			
26	8	4	8	3	8	3		
27	4	7	13	1	13	1		

(2) ウイルス性肝炎検査・相談

ウイルス性肝炎（B型・C型）の感染者の早期発見と早期治療に結びつけ、肝硬変、肝がん等への進行を防ぐことを目的に、平成23年4月より無料の検査を月1回実施しています。

区分 年度	採血件数		相談件数		相談内訳			
	男	女	男	女	電話		来所	
					男	女	男	女
25	4	1						
26	4	9	2	4	2	4		
27	4	4	2	1	2	1		

(3) 感染症発生状況 (全数把握感染症)

(人)

病 名		平成25年	平成26年	平成27年
一類感染症	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	ペスト			
	マールブルク病			
	ラッサ熱			
二類感染症	急性灰白髄炎			
	結核	20	10	13
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
三類感染症	コレラ			
	細菌性赤痢			
	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	1
	腸チフス			
	パラチフス			
四類感染症	ツツガムシ病			1

病 名		平成25年	平成26年	平成27年
五類感染症	アメーバ赤痢			1
	ウイルス性肝炎 (A型・E型除く)			
	梅毒			
	バイコマイシン耐性腸球菌感染症			
	麻しん			
	その他の感染症 (省令で規定)			1(カルバペネム耐性腸内細菌感染症)

注) 感染症発生動向調査システムデータから

1 4 結核患者支援

(1) 相談及び訪問指導状況

全登録者 17 名のうち、17 名に対し延べ 37 件の訪問指導を実施しました。所内相談は 12 件、電話相談は接触者や施設からの感染不安、健診等を主に 13 件でした。

(2) 結核対策特別促進事業

ア 院内 DOTS カンファレンス

喀痰塗沫陽性患者 4 名について、独立行政法人国立病院機構青森病院で 3 名は入院中に死亡、1 名は他疾患で転院となったため、実施はありませんでした。

実施回数：0 回

イ 地域 DOTS カンファレンス

対象者がありませんでした